

指定棚田地域振興活動計画

作成主体の名称：吉^{よなばり}隠棚田地域振興協議会

1 指定棚田地域振興活動を通じて保全を図る棚田等に関する事項(棚田等の名称及び範囲)

吉隠の棚田

11.4haのうち1/20以上の棚田11.4ha

範囲については、別添1のとおり。

2 指定棚田地域振興活動の目標

(1) 棚田等の保全

- ・ 担い手の確保

令和12年3月までに地域の女性を含む、直売所運営に係る販売団体を設立する。

- ・ 耕作放棄の防止・削減

令和12年3月まで耕作放棄地率を現状の62%以下となるよう努める。

- ・ 生産性・付加価値の向上

令和12年3月までに、「吉隠米」を原材料とした加工品1品目の商品開発を行う。また、休耕中の棚田を活用した、日本ミツバチによる養蜂の事業化を目指す。

(2) 棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮

- ・ 農産物・加工品の供給の促進

令和12年3月までにブランド米「吉隠米」の販売量を2.2tから2.7tに増加させる。

- ・ 良好な景観の形成

令和12年3月までに区内の花の植栽を進め、養蜂事業と連携し、1か所以上の蜜源を確保する。

- ・ 伝統文化の継承

吉隠地域にまつわる歴史や文化を研究する「吉隠郷土歴史研究会（楓クラブ）」（平成15年設立、令和7年現在の会員数27名、過去には吉隠歴史年表の作成、文化財専門家を招いた現地調査、区民を対象とした研究発表などを実施）を年1回以上継続実施する。また、地域の伝統行事として根付いている棚田での「大とんど」を年1回継続開催する。これらを通じ、伝統文化の次世代への継承を図る。

- ・ 小学生を対象とした自然ふれあいイベントを開催

小学生を対象とした、吉隠米の収穫体験や自然と触れ合うイベントを学校行事として年1回以上開催する。

(3) 棚田を核とした棚田地域の振興

- ・ 棚田を観光資源とした地域振興

吉隠区で収穫された生産物を活用した収穫祭を年1回開催し、200人の来訪者を誘客する。

- ・ 棚田や吉隠の歴史・文化を感じられる施設へのサイン整備を7か所行う。

3 計画期間

令和7年5月～令和12年3月31日

4 各年度において行う指定棚田地域振興活動の内容及び実施主体に関する事項

(1) 指定棚田地域振興活動の内容

① 棚田等の保全

- ・ 担い手の確保

「吉隠米」ブランド化推進プロジェクト会議と連携し、吉隠米の生産者確保に取り組む。「拠点作りWG」（後述）の事業として行う。

- ・ 耕作放棄の防止・削減

担い手の確保、農地の集積に努め、耕作率の維持を目指す。「棚田地域振興事業WG」（後述）の事業として行う。

- ・ 生産性・付加価値の向上

吉隠米を原材料とした加工品の商品開発を行う。「拠点作りWG」の事業として行う。また、休耕中の棚田を活用した、日本ミツバチによる養蜂の事業化を行う。「養蜂事業WG」（後述）の事業として行う。

② 棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮

- ・ 農産物・加工品の供給の促進

農産物の加工施設を設置し、養蜂事業によるハチミツやその他の農産物の加工品の販売を促進する。また、令和6年度までに設置した倉庫・直売所の運営体制を整備する。「拠点作りWG」の事業として行う。

- ・ 良好な景観の形成

吉隠環境整備推進委員会と連携し、空き農地の荒廃化を防ぐため、花の植栽を進める。「花いっぱい運動WG」（後述）の事業として行う。

- ・ 伝統文化の継承

吉隠地域にまつわる歴史や文化を研究する「吉隠郷土歴史研究会」を、研究会の構成員27名により年1回以上継続実施する。また、地域の伝統行事として根付いている棚田での「大とんど」を継続実施する。「棚田地域振興事業WG」の事業として行う。

- ・ 小学生を対象とした自然ふれあいイベントを開催

吉隠米の収穫体験や自然を活かした社会学習を通じ、将来の吉隠区を担う小学生が地域のことを知る機会を設ける。「子供の農業体験WG」（後述）の事業として行う。

③ 棚田を核とした棚田地域の振興

- ・ 棚田を観光資源とした地域振興

吉隠区内の農業者が農産物を販売することで、収穫祭に来訪した外部の方との交流を深め、農業者の所得やモチベーションの向上、吉隠地域の振興を図る。「収穫祭WG」（後述）の事業として行う。

- ・ サイン整備

棚田や吉隠の歴史・文化を感じられる施設へのサイン整備を行う。「棚田地域振興事業WG」の事業として行う。

(2) 指定棚田地域振興活動の実施主体

上記（１）に掲げる指定棚田地域振興活動の実施主体は、主に下記５の指定棚田地域振興協議会の参加者である。また、協議会の下部組織として、以下の通り事業別にWG（ワーキンググループ）を立ち上げ、活動を実施する。また、棚田地域振興事業WGは、WGの活動全体の総括や、WG間の連絡・調整の役割を担う。

- ・ 棚田地域振興事業WG
- ・ 拠点作りWG
- ・ 養蜂事業WG
- ・ 子供の農業体験WG
- ・ 収穫祭WG
- ・ 花いっぱい運動WG

WG 名	構成役員人数	備考
棚田地域振興事業WG	2名	左記役員に加え、募集に応じた吉隠区民が協力者として活動に参加する。
拠点作りWG	2名	左記役員に加え、募集に応じた吉隠区民が協力者として活動に参加する。
養蜂事業WG	2名	左記役員に加え、募集に応じた吉隠区民が協力者として活動に参加する。
子供の農業体験WG	2名	左記役員に加え、募集に応じた吉隠区民が協力者として活動に参加する。
収穫祭WG	2名	左記役員に加え、募集に応じた吉隠区民が協力者として活動に参加する。
花いっぱい運動WG	2名	左記役員に加え、募集に応じた吉隠区民が協力者として活動に参加する。

※ ただし、上記構成役員は重複する者も含む

5 指定棚田地域振興協議会に参加する者の名称又は氏名

別添 5 吉隠棚田地域振興協議会規約の別紙のとおり